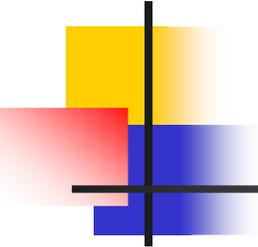
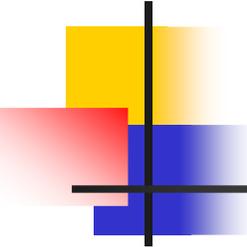


抽象化の原則

(The Abstraction Principle)

- ここまでに提示された原則はどんな一連の物体に対しても適用可能である。
- The preceding principles can be applied to any array or collection of entities

- 
-
- 抽象化の原則は難しい。
 - 逆の同類の原則(Same Kind Principle)と
いふべきものが実際には働いている。
 - そこで抽象度パラメータ(Abstraction
Parameter)を設定する。



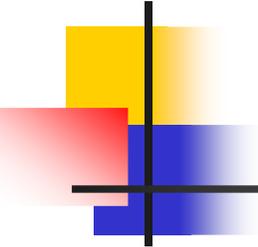
抽象のスケール

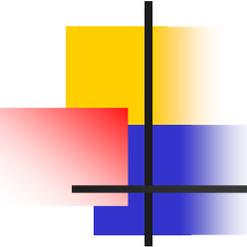
- 社会心理学者Seminを中心とした研究

Anne Maass, Federica Politi, Sayaka Suga and Minoru Karasawa

Do Verbs and Adjectives Play Different Roles in Different Cultures? A Cross-Linguistic Analysis of Person Representation

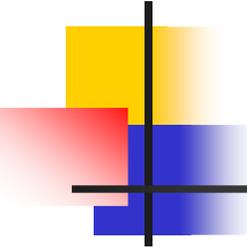
Journal of Personality and Social Psychology, Volume 90, Issue 5, May 2006, Pages 734-750

- 
-
- 人の特徴を述べる際にイタリア語では形容詞を用いる傾向が強く、日本語では動詞を用いる傾向が強い。
 - すぐ怒る、車のことをよく知っている。



言語カテゴリー・モデル

- Semin, G. R. and K. Fiedler eds. (1992) *Language, Interaction and Social Psychology*. London: Sage.
- 形容詞 (Adjective) 個人の傾性を示し、対象や状況が関与しないもの。解釈の可能性がもっとも高い。例:「やさしい」
- 状態動詞 (Stative Verb) 心的・感情的な状態を示すもの。行動のはじめと終わりの区別がない。例:「思いやる」
- 解釈的行動動詞 (Interpretive Action Verb) 行動の一般的な部類に関するもの。ポジティブ・ネガティブの評価的区別がある。「助ける」「喧嘩する」
- 記述的行動動詞 (Descriptive Action Verb) 特定の行動や、行動の物理的な特徴を表現するもの。行動の明確なはじめと終わりがある。ポジティブ・ネガティブの評価的区別がない。例:「手を伸ばす」「殴る」



抽象度パラメータの仮説 (Abstraction Parameter)

- a. 抽象度パラメータの値が低い言語には
類別詞が発達する。
- b. 抽象度パラメータの値が高い言語はカウ
ント言語になる。
- c. 基本類別詞の数は抽象度パラメータが
低いほど多く、抽象度パラメータが高いほ
ど少ない。